

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		井上 講四	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、再び一般の授業数、しかも大人数クラスが増え、準備等大変ではあるが、受講学生の学修意欲を高める工夫を行うとともに、中途挫折や不可の学生を出さないようにする。 ・ゼミ指導においては、例年より少人数(4年次3人、3年次3人のみ)となったので、より密度の濃い指導を心がける。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の授業においては、予想以上に、目標を達成できたと思う。 ・ゼミ指導については、思わぬ事態が途中で発生したが(3年次の1人がゼミ離脱)、その後残りのゼミ生については、ほぼ目標は達成できたと思われる。 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・所属学会・各種研究会等への参加及び自主開催(地域教育研究会)を行うとともに、その研究成果等を論文・公開発表する。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ予定通り、目標を達成できたと思われる。 		
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・所属学会での職務(評議員)を、引き続き引き受けるとともに、今年度も引き続き、沖縄県教育委員会からの委嘱事業の一環(申請型プロジェクト)を企画・運営する。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ予定通り、目標を達成できたと思われる。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、大学全体及び学部運営の職務はないが、コースの年次指導教員(1年次)として、及び教育実践総合センターの運営委員として、管理運営的には関わる。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・年次の指導教員としては、今ひとつ十分ではなかったように思われるが、全体としては、ほぼ予定通り、目標を達成できたと思われる。 		
進路指導	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も引き続き、ゼミ指導学生の進路選択あるいは就職に対して、可能な限りの支援を行う。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ予定通り、目標を達成できたと思われる。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		島袋 恒男	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	①授業の「出欠・振り返り表」を作成し出欠を確認と振り返りをさせる。学生の成長・就職に関する話題・資料を講義で取り上げ、わかりやすい授業に取り組む(ppt, ビデオ, 学生への問いかけの重視等)。授業で「書く力・ショートレポート」の育成心がける。②演習・卒論・大学院研究指導において学生の意欲・意見を重視し主体的な学びを育成し、統計指導に基づく研究指導を重視する。			0.25	出席票により出席をチェック,簡単な振り返り実施」。PPTによる授業の実施。「ビデオ学習により青年期の発達・進路指導・職業」に関する学習に取り組みせ記述・まとめる力を重視。統計は演習重視。卒論・修論指導では「主体性を重視し、自らの力で調査・分析を重視し、卒論・修論を作成させる。修論では3名の構想発表させる(3月予定)。		
研究	0.30	①学力向上の実践に関するデータを論文として公表する。②大学生のキャリア教育と支援に関する研究に取り組み論文等を発表する。③上記に関する学会発表・シンポを行う④前年に引き続き学外との学力向上の共同研究に取り組む。第36回日本キャリア教育学会を主催する。			0.25	「学力向上に関する研究発表1件(日心)」。キャリア教育学会シンポ「キャリア教育とキャリア発達」の企画・実施。学力・キャリア発達の論文は未完成,小学校での学力向上の企画に参加、成果の確認調査3月予定。第36回日本キャリア教育学会実行委員長。		
社会貢献	0.25	①小学校数校の学力向上に関して連携し実践する(予定) ②必要に応じ学力向上・キャリア教育に関する教育委員会と学校現場への支援・研修等に従事する ③, 教員免許更新講習・認定講習に従事する。④小学校学校評議員に従事する。MSP事業に従事し検証調査の実施。アドバイザーに従事。			0.30	MSPに参加し小学校との連携で「学力向上のための研修と学力向上の実施」に従事し、校内研修会と授業研究に参加、学生も参加させる。3小学校の「学校評議員」に従事。「学力向上」の講演数件。「免更新・認定講習」に従事。「県「公私立高校協議会」に従事。県教委「教員選考改善委員」那覇市「青少年協議会委員。		
管理運営	0.10	①大学院コース主任、学部学生生活委員会委員に従事し、主に教採セミナーの企画に従事する。3年次指導教員。就職センター運営委員。			0.10	大学院コース主任。学生生活委員会副委員長。教採セミナー企画。3年次指導教員。就職センター運営委員。		
進路指導	0.05	①必要に応じ学部の就職支援に参加する②懇談会等・学生の求め			0.10	コース学生・受講学生の教採相談に応じ情報提供。就職センター「教採講座」の紹介数件。学部教採セミナー・認定試験担当。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊藤 義徳	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部3年次5名, 4年次6名, 修士1年次4名, 修士2年次2名の教育, 研究指導を恙なく行う。 香港に研修旅行を行う。			0.30	卒論, 修論指導を行った。香港への研修旅行を恙なく終えた。		
研究	0.20	科研費(基盤C)「コンパッションに基づくいじめ予防教育プログラムの開発と普及」研究の遂行 笹川記念保健協力財団助成研究「ホスピス緩和ケアに関する研究」の遂行			0.20	二つの研究課題について研究を遂行した。		
社会 貢献	0.20	沖縄女子学園(女子少年院)におけるマインドフルネスに基づく矯正プログラムの運営 その他, メンタルヘルスに関わる講演, 研修業務			0.20	外部研修を10件以上行った。沖縄女子学園の他, 沖縄少年院でもマインドフルネスに基づく矯正プログラムの運営を行っている。		
管理 運営	0.20	全学ハラスメント防止対策委員, ハラスメント規定見直しWG委員, 教員免許更新講習実施委員, 教育学部心理臨床科学コース主任, 学部代議員, 学部入試委員, 大学院教務委員の遂行			0.20	左記の委員を務めた。		
進路 指導	0.10	心理臨床科学コース4年次20名, 大学院臨床心理学専攻修士2年次4名の進路指導			0.10	それぞれの進路について相談にのった。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊藤 大輔	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.50	・担当授業内容の作成と実施		0.45	・担当授業内容の作成と実施	
研究	0.20	・論文の執筆と投稿 ・国内外の学術会議における参加, 発表 ・科研費事業(若手研究B: 2014~2018)の推進		0.30	・学術雑誌論文採択 ・国内外の学術会議における研究発表 ・科研費事業(若手研究B: 2014~2018)の推進	
社会 貢献	0.05	・沖縄県警察被害者等カウンセラー 委託事業への参加		0.15	・沖縄県警察被害者等カウンセラー 委託事業への参加 ・沖縄県臨床心理士会被害者支援委員会 被害者支援(緊急対応) ・沖縄県生活困窮者自立促進支援モデル事業 講師	
管理 運営	0.15	・共同研究推進委員会への参加 ・所属コース一年次生に対する教育, 指導		0.05	・所属コース一年次生に対する教育, 指導	
進路 指導	0.10	・所属コース一年次生およびゼミ生に対する進路相談受付		0.05	・所属コース一年次生およびゼミ生に対する進路相談受付	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中尾 達馬	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.35	今までの経験を踏まえて、授業内容をより洗練されたものへと昇華させるべく、授業準備・教材研究を徹底して行いたい。また、3・4年次対象のゼミについては、卒業論文執筆や就職支援を念頭においた指導を行っていきたい。		0.30	授業準備・教材研究を徹底的に行った。講義では、毎回、感想を一言以上書いてもらい、双方向的に授業が展開するよう工夫すると共に、これを形成的評価の手段の一つとして活用した。ゼミでは、卒業論文の執筆や就職支援を念頭においた指導を展開した。			
研究	0.30	文科省科研費若手(B)の助成を受け、「発達とアタッチメントから考えるニート・ひきこもりへと至るプロセス」に関する研究を実施する(課題番号:25750377)。日本心理学会や日本発達心理学で、学会発表を行うと共に、琉球大学教育学部紀要へ論文を寄稿予定である。		0.30	科研費の助成を受けた調査研究を2つ実施した。アメリカのバークリー市で行われたAAI Institute(2週間)に参加した。また、琉球大学教育学部紀要と琉球大学教育学部教育実践総合センター紀要に論文を寄稿した。			
社会 貢献	0.10	免許状更新講習では、必修講習(教育の最新事情)において、「子どもの変化についての理解」について講義を行う。また、Advisory Staff制度に登録を行い、依頼がある場合には発達心理学的内容の講座等を提供したい。		0.20	那覇市青少年問題協議会専門委員・青少年問題協議会委員を務めた。また、教員免許状更新講習必修講習、教育職員免許法認定講習を担当した。さらに、保護者向け進路懇談会(南風原高等学校)、家庭教育支援講演会(宜野湾市はごろも学習センター)において講演を行った。			
管理 運営	0.10	教育学部の子ども地域教育コースの4年次指導教員として、教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室のために、尽力したいと思う。		0.10	教育学部の子ども地域教育コースの4年次指導教員として、教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室の管理運営に貢献した			
進路 指導	0.15	子ども地域教育コースの学生だけでなく、進路や就職のことについて相談してきた学生全てに対して、私の今までの経験を伝え、何をどうすればよいのか、職業を中心とした人生設計(キャリア発達)とは何か、について一緒に考えていきたい。		0.10	進路や就職のことについて相談してきた学生に対して、私の今までの経験(現職の先生方だけでなく、保育職や小学校教諭を目指す人と関わってきた経験)を伝え、今何をどうすればよいのか、職業を中心とした人生設計(キャリア発達)とは何か、について助言をした。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上間 陽子	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.40	ゼミ生への指導ならびに指導教員である1年次の指導を行う。キャリア教育相談、ゼミ相談、卒業論文の相談がメインになるかと思われる。また教育実習員を行っている関係から教職免許科目の履修指導並びに実習指導を実施する予定。		0.30	予定どおり実施した他、附属小学校の公開研究会の指導助言者(2015年1月24日)などを実施した。	
研究	0.40	日本生活指導学会課題研究パネラー(8月29日)、日本教育社会学会課題研究パネラー(9月17日)、日本教育社会学会依頼原稿(2015年1月締め切り)を実施する予定。		0.50	すべて予定通り実施した他、『沖縄で教師になる人のために』(協同出版)に「沖縄の貧困」を執筆。また、科研基盤C『沖縄の貧困の総合的研究』が新採択されたことに伴い、文科省実施の学力テストの悉皆調査データを県から委託され基礎的データの分析を行っている(年度内業務)。	
社会貢献	0.15	珊瑚舎スコールへのボランティア並びにフィールドワーク、乳児院へのボランティアを行う予定。		0.15	予定通り実施した。	
管理運営	0.05	全学ハラスメント委員、教育実習委員、1年次指導教員を担当予定。		0.05	予定通り実施した。	
進路指導	0.00	教育欄を参照。		0.00	ゼミ生への指導を実施した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		森山 克子	所 属		教育学部 生涯教育課程
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。 ・「校外実習」の給食現場を選定して調整して実施する。 ・授業終了時間5分前に授業のふりかえり評価を実施する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教育実習」現場の担当栄養教諭、担任教諭等と細やかに調整してそれぞれの学生にあった指導をおこなった。さらに、教育実践演習では、近隣公立学校と連携して学生による授業を行った。 ・「校外実習」は学生の自宅から通えて指導能力の高い指導者が勤務する調理場を選定しているよう調整し依頼でした。 ・授業終了後のふりかえり個人の学びの自己評価を実施し、コメントした。
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・海を活かした教育に関する実践研究(外部資金) ・学力向上推進地域事業における委託事業を受託(早寝・早起き・朝ごはん) ・附属小学校との連携による共同研究 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・海を活かした教育に関する実践研究「海に関する食品を使用した凍結含浸法という新調理の研究」を行い、学会で発表した。 ・学力向上推進地域事業における委託事業を受託(早寝・早起き・朝ごはん)の食育講演会や授業を行った。 ・附属小学校との連携による共同研究「指導方法の検討」を実施した。
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」・「3歳子どもシェフクラブ」の実施 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師 ・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭10年経験者講習認定講師 ・ラジオ沖縄毎週火曜日ゲスト出演 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」の実施した。 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食の安全・安心懇話会委員 ・沖縄県食に関する指導推進委員会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・宜野湾市食育推進会議議長 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師 ・栄養教諭認定講習講師 ・ラジオ沖縄毎週火曜日ゲスト出演 ・琉球新報食育フォーラムにてパネリスト
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等 ・栄養教諭部会長並びに、教育実習委員として支援と指導を行う 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等を行った。 ・教育実習委員として支援と指導を行う
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導のための個別面談指導 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導のための個別面談指導のために、学生の希望職種の方から学ぶ機会をもち進路を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		尾方 隆幸	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	教員養成課程では自然地理学全分野の基礎的な教育, 生涯教育課程では地球科学と生涯学習の連携に重点を置いた応用的な教育を継続する。後者については, 昨年度同様に公開授業も取り入れる。		0.30	教員養成課程では地理学全分野の基礎的な教育, 生涯教育課程では地球科学と生涯学習の連携に重点を置いた応用的な教育を継続した。後者については, 昨年度同様に公開授業も取り入れた。総合環境学副専攻の「総合環境学概論」「総合環境論」では世話人を務めた。筑波大学地球学類の科目「地生態学」を非常勤講師として担当した。	
研究	0.40	地球科学のアウトリーチに関する研究を継続し, より深化させる。成果は全国レベル・国際レベルの学会に発表する(科研費基盤研究C「カルスト地形のデータベース作成と地球科学教育への活用」の交付内定)。		0.30	科研費基盤研究C「カルスト地形のデータベース作成と地球科学教育への活用」を中心に, 国内外のカルスト地形に関する研究と, 地球科学のアウトリーチに関する研究を進めた。成果は「日本地球惑星科学連合大会」での口頭発表, 「地学雑誌」への投稿などによって公開している。学内共同研究「沖縄環境学の構築のための萌芽的研究」も行った。	
社会貢献	0.20	ジオパークに関する学術的支援, および自然災害に関する普及活動を継続する。必要に応じて, 昨年度同様に自治体等からの兼業も引き受ける。		0.20	琉球大学公開講座「ジオガイド養成講座」を引き続き提供した。沖縄市, 与那国町, 南大東村からの依頼により, 地球科学の専門家として防災や科学教育に関する委員や講師などを引き受けた。	
管理運営	0.10	総合環境学副専攻の運営に尽力する。学部の図書紀要委員, 学科の学年指導教員としての責務を果たす。		0.10	総合環境学副専攻の運営に尽力した。全学の危機管理委員, 学部の図書紀要委員長, 学科の学年指導教員としての責務を果たした。	
進路指導	0.10	自然環境・自然地理学ゼミの学生に対して, 自らの専門分野とネットワークを活かした情報を提供する。		0.10	自然環境・自然地理学ゼミの学生に対して, 自らの専門分野とネットワークを活かした情報を提供した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		三輪 一義	所 属		教育学部 生涯教育課程 生涯健康教育コース
職 名		教授			
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> すべての担当授業科目実施に全力で取り組む。 本コース所属学生(40名)の学部教育に最大限の努力を払う。 本専修所属学生(5名)の大学院教育に最大限の努力を払う。 琉球大学男女ハンドボール部の教育活動に全精力を挙げて取り組む。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 開講された担当授業科目について、全精力をかけて取り組んだ。 本コース所属学生の学部教育に全力で取り組んだ。 本専修所属学生の大学院教育に全力で取り組んだ。 ハンドボール部の教育活動に全身全霊をかけて取り組んだ。
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> スポーツコーチングに関する基礎的研究で、本年度は指導者養成の方法やその活用法に関する資料を収集する。 ハンドボール指導教本作成に関して、その一翼を担う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 指導者資格に関する基礎調査について、第一段階の資料収集を終えた。 ハンドボール指導教本の来年度完成に向けての執筆分担を行った。
社会貢献	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 大学の公開講座を継続する。 県教育庁及び県体育協会から委嘱された委員活動の責務を果たす。 日本協会・九州学生連盟・沖縄県協会(ハンドボール)の委員や役員の責務を果たす。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座「小中学生のためのハンドボール教室」を開講した。 県教育庁等からの委嘱委員の責務を果たした。 ハンドボールに関する役員等の責務を果たした。
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 生涯健康教育コース主任の責務を果たす。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 生涯健康教育コース主任の責務を果たした。
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 所属コース卒業生のネットワーク構築の準備を図る。 コース所属学生の進路指導に全精力を注ぐ。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> コース卒業生のネットワーク構築に尽力した。 学生の修学指導に全力で取り組んだ。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		笹澤 吉明	所 属		教育学部 生涯教育課程
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部における「社会福祉概論」「衛生・公衆衛生学」「健康管理学概論」「サッカー」「生涯スポーツ」「卒業研究」、大学院における「学校保健学特論」、共通教育における「健康と運動の科学」「サッカー実技」の全コマを遂行する。琉球大学サッカー部の監督として学生を指導する。国立台湾体育運動大学(趙学部長)とのサッカー国際交流。		0.30	学部・大学院の講義・実技を滞りなく遂行した。FIFA主催の台中国際都市対抗交流サッカー大会(台湾:アジア5か国出場)にて琉球大学選抜の団長を務め優勝および台湾体育運動大学との国際交流を達成した。アジア各国のメディアでも紹介された。琉球大学の5名の学生が参加し学長賞を申請中。
研究	0.30	児童生徒の睡眠と学力の研究(科研基盤研究C24500821:沖縄の小中学生の学力向上に向けた睡眠介入研究—コホート研究と睡眠脳波実験の併用—)。嘉手納飛行場周辺騒音度調査(防衛省)。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」の改訂を進める。ビーチサッカーの学校教育のカリキュラム化の試み(日本財団)。		0.30	児童生徒の睡眠と学力の研究をほぼ予定通り遂行した。嘉手納飛行場周辺騒音度調査を遂行した(嘉手納基地周辺の騒音コンター作成のため)。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」の改訂を終える。ビーチサッカーの学校教育のカリキュラム化について公開座談会を開催し検討した。
社会貢献	0.20	沖縄県教育委員会家庭教育推進委員会委員。防衛省請負業務の「嘉手納飛行場周辺騒音度調査」委員。防衛省、国土交通省、環境省の学術アドバイザー。沖縄県サッカー協会大学委員長・理事(大学リーグ、大学選抜)、九州大学サッカー連盟理事・沖縄県委員長。公開講座「琉大生がサッカーと勉強を教えます！」の代表講師。その他、県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演。アドバイザー講師。		0.20	全ての委員活動を滞りなく遂行した。公開講座「琉大生がサッカーと勉強を教えます！」はNHKの「あさイチ」で報道され全国に紹介された。県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演会は平成26年4月より平成27年2月現在21回行われた。
管理運営	0.10	4年次指導教員、安全対策委員を務める。		0.10	4年次指導教員、安全対策委員を滞りなく務めた。
進路指導	0.10	教員志望者への指導、大学院進学志望者への指導、一般企業志望者への指導を適宜行う。		0.10	教員志望者への指導、大学院進学志望者への指導、一般企業志望者への指導を適宜行っている。特にサッカー一部4年生においては教員や役所(公務員)や一般企業など5名すべての学生の就職が決まった。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高橋 美奈子	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施するよう努める。また、学生から積極的に授業改善への意見を聴取する機会を設け、講義のより一層の改善改良を図る。卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行う。			0.30	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施するよう努めた。また、学生から積極的に授業改善への意見を聴取する機会を設け、講義のより一層の改善改良を図った。卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行った。		
研究	0.45	昨年度から3年間にわたり採択された科研費助成の研究課題については、代表者として課題を計画通り遂行する。また、別の科研費課題についても連携協力者として7月の国際学会での発表が採択されたので、計画通りに遂行する。さらに、学外教育機関との共同研究「現代日本語の話しことばコーパスの作成」も引き続き行い、コーパスの完成を目指す。また、一昨年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行する。			0.40	昨年度から3年間にわたり採択された科研費助成の研究課題については、代表者として課題を計画通り遂行し、論文も発表した。また、別の科研費課題についても連携協力者として7月の国際学会で口頭発表を行った。さらに、学外教育機関との共同研究「現代日本語の話しことばコーパスの作成」も引き続き行い、コーパスの第1稿を完成させた。また、一昨年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行した。		
社会貢献	0.10	昨年度に引き続き、沖縄県在住外国人のための日本語教育推進事業「日本語ボランティア」育成講座の講師を務める。また、教員免許認定講習の講師も務める。NPO法人「アメリジアンスクール」での授業や教材の活用を実施する。			0.15	昨年度に引き続き、文化庁委託事業「日本語ボランティア育成講座」の講師を務めた。また、教員免許認定講習の講師も務めた。「アメリジアンスクール」での教材活用などの活動はできなかったが、スクールの先生方のみならず、公立小学校の日本語支援の先生方とともに「沖縄県JSL児童生徒支援ネットワーク」を立ちあげ、その代表を務めた。		
管理運営	0.10	「子ども地域教育コース」では、3年次指導教員を務め、旧組織の「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員を務める。その他、「子ども地域教育コース」の入試委員を務める。			0.10	「子ども地域教育コース」では、3年次指導教員を務め、旧組織の「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員を務めた。その他、「子ども地域教育コース」の入試委員を務めた。		
進路指導	0.05	指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、積極的に進路相談のためのオフィスアワーを開放する。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許・資格関連等の情報提供を行う。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮する。			0.05	指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、積極的に進路相談のためのオフィスアワーを開放した。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許・資格関連等の情報提供を行った。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田 悦治	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	多様な教育現場での美術教育実践を展開する。路地裏楽校(那覇市)、一番街商店街WS(沖縄市)、離島でのアート・アクションWS(座間味村)等の実践を通して、協働と表現活動から生まれる学びの創造に取り組む。		0.30	稲田小学校(名護市)、糸満小学校(糸満市)、中城南小学校(中城村)、座間味島での授業実践およびワークショップ実践において、教材開発を中心とした演習授業に取り組んだ。	
研究	0.30	子どもを含む多様な人々と地域を繋ぐ教育・文化実践の可能性を探求する。主に「うみ」「シマ」「場」から生まれる創造活動を実践を通して研究する。 ※「海を活かした教育に関する実践研究」(日本財団)		0.30	「うみ」「シマ」をモチーフにした教育・文化実践の研究として、「瀬戸内国際芸術祭2013」での実践記録についてのアーカイブ作成等に取り組んだ。 ※「海を活かした教育に関する実践研究」(日本財団)	
社会貢献	0.20	授業研究会での指導助言や県内における美術・造形教育に関わる支援に取り組む。		0.20	附属小学校での授業研究会において指導助言を行った。また、障害者週間ポスター審査員、障害児学校部 教育研究会の共同研究者として、特別支援教育の支援に取り組んだ。	
管理運営	0.10	2つの専修・コース(美術教育専修・子ども地域教育コース)の教室運営、及び学部教育委員としての教務関連業務が円滑に行われるよう取り組む。		0.10	2つの専修・コース(美術教育専修・子ども地域教育コース)の教室運営、及び学部教育委員として全学学士教育プログラム委員会・教務関連業務が円滑に行われるよう取り組んだ。	
進路指導	0.10	認定試験の問題作成等、教員採用試験に向けた進路支援に取り組む		0.10	認定試験の問題作成、教員採用試験対策として指導案作成・模擬授業等の指導に取り組んだ。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	金城 昇		所 属	教育学部 生涯教育課程		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.15	ライフスキル教育を基礎とした新たな健康教育プログラム開発と実践を進める。健康心理学, ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践する。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ貢献する。		0.10	ライフスキル教育を基礎とした新たな健康教育プログラム開発と実践を進める。健康心理学, ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践する。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ貢献した。		
研究	0.10	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を受けるとともに市町村民の健康づくり事業を推進する。2014年11月1・2日開催の日本健康心理学会沖縄大会実行委員長として準備する。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進する(12市町村及びその管下の小学校と連携)。		0.10	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を受けるとともに市町村民の健康づくり事業を推進した(報告書参照)。2014年11月1・2日開催の日本健康心理学会沖縄大会実行委員長として学会を成功させた。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を実施している(12市町村及びその管下の小学校と連携)。		
社会 貢献	0.10	健康おきなわ21策定栄養・運動部会長として貢献する。ひきつづき西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員としてつとめる。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として協力する。		0.10	健康おきなわ21策定栄養・運動部会長として評価と策定を行った。西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員を務め, 推進大会での報告も行った。JICAアフリカ(2コース), 中南米地域母子保健強化コース(2コース)の研修を実施した。沖縄県家庭教育推進委員会委員として推進計画の策定と学習プログラムを作成した。		
管理 運営	0.50	附属小学校校長として付属学校の運営にあたる。		0.60	附属小学校校長として付属学校の運営にあたった。		
進路 指導	0.15	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生・院生の指導及び就職活動等の指導にあたる。		0.10	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努めた(ゼミ学生2名進学, 2名就職決定)。学部学生・院生の修学, 論文及び就職活動等の指導にあたった。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田吹 亮一	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.35	大学院、学部の講義については、これまで配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを図る。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドの内容の向上に務めるとともに、受講生からみて分かりやすいものにする作業を継続する。課題研究を行う学部生(4年)2名の指導を行う。		0.35	全ての授業について、基本的にパワーポイントによる授業を行なっているが、その内容のバージョンアップを行った。一方、これまで配布してきた授業内容を記したテキストの「改訂」作業は不十分であった。4年次学生、2名の卒論指導を行ない、現時点で、論文がほぼ仕上がった。ベストではないが相応の結果を得たと思う。	
研究	0.35	今年度中に2本の論文の投稿を行い、掲載されるようにする。科研費と「宇流麻学術研究助成」に研究費を申請した。夏季休暇期間中、約10日間、3度目の小笠原諸島周辺海域での調査、試料採集(貝形虫)を行う予定である。		0.20	論文として田吹・宮城の「沖縄本島中部・億首川河口のマングローブ水域に生息す貝形虫群集」を学部紀要に昨年、投稿する予定であったが、果たせなかった。今年の3月に投稿予定であるが、目標を果たせなかった点、努力不足と言える。	
社会貢献	0.05	沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員等の学外の職務に対応する。		0.10	沖縄県文化財保護審議会専門委員として那覇市バスターミナル横の「仲島の大石」への保全についてアドバイスを行った。沖縄県児童生徒科学作品展審査委員を務めた。沖縄県理科教育協会国頭大会の研究授業(「地震」)に対し助言を行った。課せられた職務を果たすことができたと思う。	
管理運営	0.15	理科教育講座主任(=理科合同主任)および自然環境科学教育コース主任を務める。		0.25	理科教育講座主任(=理科合同主任)および自然環境科学教育コース主任を務めた。学部代議員、前期入試・個別学力検査問題作成委員を務めた。課せられた職務を果たすことができたと思う。	
進路指導	0.10	自然環境科学教育コース2年生の指導教員として進路相談に当たる。		0.10	自然環境科学教育コース2年生の指導教員としての仕事をこなした。課せられた職務を果たしたと思う。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋 俊明	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	化学の講義では小テストを定期的に行い、理解度を深める。また有機化合物の分子構造の説明では動画を補助教材として、有機化合物の三次元構造をより深く理解できるよう試みる。また学生実験では簡単に手に入る材料を用いた実験を行い、生徒の興味を引き出すよう心掛ける。			0.25	化学の授業では分子構造の説明の際、動画を補助教材として用いた。黒板に化学式を板書するより化合物を深く理解できたという学生が多かった。また学生実験では植物色素の分離を実験テーマと設定したところ、身近な色素を視覚的にとらえることが出来たため、色素の理解が深まったという学生が多かった。		
研究	0.40	沖縄県金武町で採集したカイメンが抗菌活性を示すことが明らかとなったので、抗菌活性を指標に化合物の探索を行う。			0.40	沖縄県金武町で採集したカイメンから抗菌活性を有する化合物を単離し、その化学構造を決定した。		
社会貢献	0.10	沖縄県沿岸で採集した未利用海洋資源が生産する薬理活性物質を解明することで、未利用海洋資源の付加価値を高めることが出来ると考えられる。			0.10	沖縄県金武町で採集したカイメンから抗菌活性を有する化合物を単離した。得られた化合物は抗菌剤のリード化合物として使用できる可能性があることから、沖縄県の未利用海洋資源の付加価値が高まったと考えられる。		
管理運営	0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員としての職務を遂行する。また琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員、国立大学法人琉球大学安全衛生委員会(千原事業場)委員、機器分析支援センター運営委員の職務を遂行する。			0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員としての職務を遂行する。また琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員、国立大学法人琉球大学安全衛生委員会(千原事業場)委員、機器分析支援センター運営委員の職務を遂行する。		
進路指導	0.15	修士課程2名、4年生2名と密にディスカッションし、学生の希望、目標などを把握し本人の希望に沿った進路に進むことが出来るよう適時助言する。			0.15	修士課程2名、4年生2名の研究指導を行った。研究指導においては週1回の報告会を実施し、学生と密にディスカッションを行った。それぞれの学生が本年度の課題を遂行した。4年生1名は修士課程に進学する予定である。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		富永 篤	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学生が卒業後、必要とされるスキルや能力を身につけられるような講義、実習を行う。講義、実習は学生が面白く、わかりやすいと感じられる内容を目指し、また講義のレベルも一定水準以上のものになるように努力する。		0.30	2, 3年生向けの講義や実験では、新課程の教科書の内容を取り込んだ講義、実習内容を盛り込み、教育現場で役立つ情報や経験を提供できるように心がけた。4年生の年次指導教員として、進路についての助言を行った。目標は達成したと考える。	
研究	0.45	両生類の系統分類、遺伝的多様性、生活史に関する研究について学術論文1報の発表を目標とし、学会での発表を行う。採択中の科研費の研究課題の成果発表を心がける。新たな外部資金獲得のため助成金に応募する。		0.30	国際誌3報が受理された。そのうち1つは科研費の課題に関する内容で研究課題に関する成果を出すことが出来た。そのほか学部紀要にも論文を2報投稿した。今年度は研究分担者として科研費を申請した。目標は達成したと考える。	
社会貢献	0.10	小中学校、高等学校との連携、環境教育活動、自然環境の保全活動へ積極的に参加、関与する。特に外来種対策に貢献する。また所属学会の各種役職を仕事が滞ることのないようにこなしていく。		0.30	免許状更新講習の講師、沖縄県理科教育協会の授業研究大会での指導助言者、国の外来種根絶対策の助言者、県のレッドデータブック委員、所属学会または研究会(4団体)の委員や幹事を担当した。目標は達成したと考える。	
管理運営	0.10	担当する学内、全学の委員会への会議にできるだけ出席し、委員会の運営のために尽力する。		0.05	全学の委員、学部の委員として職部をこなした。目標は達成したと考える。	
進路指導	0.05	本年度も、研究室の学生、年次指導教員を担当している所属コースの4年生の就職、進学支援の相談にのり、目標実現のために可能な限り協力する。		0.05	研究室の4年生やそのほかの学科の4年生の年次指導教員として、進学、就職の支援を行った。多くの学生が希望の進路に進んでくれるように思う。目標は達成したと考える。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		